

1. 施設理念

障がいの有無に関わらず利用者の幸福の追求と豊かな生活の実現を支援します。

2. 施設方針・テーマ

「利用者が自己実現できる施設づくりとたゆまない成長」

3. 実施事業

救護施設	定員	80名
就労継続支援B型	定員	20名

4. 重点目標

◇利用者の基本的人権を保障し、主体性を尊重した支援の充実

- ・人権やプライバシーの擁護に最大限努める。
- ・エンパワメントの視点に立った支援に努める。

◇多様な障がいや課題を持つ利用者のニーズに応じたサービスの提供

- ・個々の生活の困難さに対応したサービスを提供する。
- ・「ともに生きる」ための生活環境を構築する。

◇地域に根ざした施設を目指し、循環型支援体制の構築を図る

- ・地域のネットワークを活用しニーズに応じた支援を提供する。
- ・施設自身が地域の社会資源として幅広く認知されるよう取組む。

(1) 人材育成と職場定着

◆専門性の向上と高い倫理性の醸成

- ① 外部研修(リモート含む)への積極的な参加及びOJT教育の充実。
- ② 「聴く・伝える・考える・感じる」等の基本動作のレベルアップを図る。
- ③ 自然と流れる良質な「報・連・相」の追求。
- ④ 絶えず問題意識を持ち自由な発想が引き出せる組織風土の構築。

(2) 利用者へのサービス提供(顧客満足・質の向上)

◆持続可能な良質で安心・安全な支援

- ① 自己決定と尊厳を尊重した支援の提供。
- ② 利用者主体の「個別支援計画」の作成と実践。
- ③ 「相談・意見・苦情」に速やかに対応し業務改善に繋げる。
- ④ 個々の能力や障がい特性に配慮した作業の提供。

(3) リスク対策(感染・安全・災害等)

◆各種リスクの抽出と対応策の検討と実践

- ① 社会的ルール、法令遵守の重要性の再考と共有。
- ② 各種委員会による安全対策と感染症等への対策強化。
- ③ 各種災害に対する教育・訓練の実施。
- ④ 施設内外の環境整備と作業環境の安全対策の実施。

(4) 施設・設備整備

◆多様化する福祉ニーズに対応可能な設備・備品の整備と更新

- ① 老朽化部分については優先順位の高いものから修繕。
- ② 備品の計画的な更新と先進技術導入の模索。
- ③ 定期的な安全の自己チェックと専門家による調査の実施。
- ④ 利用者・職員の安全確保のための防犯設備を強化。

(5) 地域連携・社会貢献

◆地域のニーズを把握し社会資源と連携した取組みの強化

- ① 地域連携
 - ・移動販売等の支援により、地域活性化・まちづくり支援活動への協力。
- ② 社会貢献
 - ・施設周辺の定期的なクリーン活動の実施。
- ③ 地域との交流事業
 - ・救護施設の啓発活動と情報発信を、ゆりはま105感謝祭・ふれあい大平市等の地域交流の場を利用しながら進める。
- ④ 地域における公益的な取り組み
 - ・相談支援事業「えんくるり事業」へ積極的に参画し、社協等の関係構成機関との支援連携体制を構築する。

(6) 経営管理

◆事業の安定稼働と適正な予算執行

- ① 稼働目標
 - ・救 護：稼働率 106%
月初定員の 110%/88 名
 - ・就労B：22.9 名/日
- ② 緊急ショートの積極的な受け入れ。
- ③ 多様な作業内容の確保と安定した業務量の維持。
- ④ 毎月の収支分析による予算執行管理。

5. 新規事業

なし